

ISS・きぼうウィークリーニュース

International Space Station (ISS) / Japanese Experiment Module "Kibo"

WEEKLY NEWS: Vol. 433



(左) GCTC で行われたセレモニーに参加する 27S クルー (出典: JAXA/NASA/Bill Ingalls)

(右上および右下) バイコヌール宇宙基地にて打ち上げに向けた最終準備を行う 27S クルー (出典: JAXA/NASA/Victor Zelentsov)

トピックス

ソユーズ宇宙船 (27S) の打ち上げまで **8 日**

古川宇宙飛行士ら 27S クルーは打ち上げに向けてバイコヌール宇宙基地に移動

5 月 25 日、古川宇宙飛行士ら 27S クルーは、モスクワのガガーリン宇宙飛行士訓練センター (GCTC) から、打ち上げが行われるカザフスタン共和国のバイコヌール宇宙基地に移動しました。

移動に先立ち、27S クルーは GCTC で行われたセレモニーと記者会見に参加しました。記者会見で、古川宇宙飛行士は「準備は万全です。いい仕事ができるように頑張っていきたいと思います」と、いよいよ始まる国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在に向けた抱負を語りました。

バイコヌール宇宙基地に到着した 27S

クルーは、5 月 26 日から、打ち上げに向けた整備作業が進められているソユーズ TMA-02M 宇宙船の機内の確認や、ロシアのソコル宇宙服の機能確認、打ち上げ時の手順確認など、打ち上げに向けた最終準備を行っています。

古川宇宙飛行士らに乗せたソユーズ TMA-02M 宇宙船は、6 月 8 日午前 5 時 12 分に打ち上げられ、2 日後の 6 月 10 日に ISS ヘドッキングする予定です。

打ち上げの様子は 6 月 8 日午前 4 時 30 分から 5 時 30 分の間、ISS への入室の様子は 6 月 10 日午前 8 時 30 分から 9

時 30 分の間、インターネットなどでライブ中継を行いますので、ぜひご覧ください。また、筑波宇宙センター (TKSC) など様々な施設でパブリックビューイングを予定しています。施設などの詳細は古川宇宙飛行士長期滞在ページをご覧ください。同ページでは古川宇宙飛行士の壁紙も配布しています。

Website info

古川宇宙飛行士打ち上げ・ISS 入室ライブ中継
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/library/live/

古川宇宙飛行士の壁紙配布ページ
http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/library/wallpaper/

今週のきぼう



船内実験室運用開始から **1090 日**経過

Myco 実験のサンプル採取を実施、船外実験装置の観測運用を継続

「きぼう」日本実験棟では、5 月 28 日に「国際宇宙ステーションに滞在する宇宙飛行士の身体真菌叢評価」(Myco) 実験のサンプル採取を行いました。この実験は、人工的な環境で生活する宇宙飛行士に付着

している微生物、特に真菌 (カビ) の変化を調べ、今後の宇宙飛行士の健康管理に役立てることを目的としています。

「きぼう」船外実験プラットフォームでは、宇宙環境計測ミッション装置

(SEDA-AP) と全天 X 線監視装置 (MAXI) の観測運用が続けられています。

Website info

「きぼう」での実験 (各実験の詳細はこちら)
<http://kibo.jaxa.jp/experiment/>

ISS で実施するすべての作業を終え、エンデバー号は ISS から分離

STS-134 クルーは、国際宇宙ステーション (ISS) 長期滞在クルーと行う軌道上での共同作業を完了し、帰還に向けて ISS を出発しました。

5月25日には第3回船外活動が実施され、「ザーリヤ」(基本機能モジュール) 外部の整備作業などが行われました。また、5月27日には第4回船外活動が実施され、スペースシャトルのセンサ付き検査用延長ブーム (OBSS) を ISS 船外に設置する作業などが行われました。この OBSS は今後、ISS のロボットアーム (SSRMS) の延長ブームとして使用されます。

なお、第4回船外活動はスペースシャ

トルクルーが実施する最後の船外活動であるとともに、ISS で行われた船外活動の累計時間が 1,000 時間を超えた記念すべき船外活動となりました。

5月30日午後0時55分、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) は ISS から分離しました。その後、オリオン宇宙船の自動ランデブ/ドッキング用センサの開発試験を実施するため、エンデバー号を再び ISS に接近させる運用が行われました。

帰還に向けた準備を行った後、エンデバー号は6月1日午後3時35分に NASA ケネディ宇宙センター (KSC) へ着陸し、

最後のミッションを終える予定です。



第4回船外活動を行う STS-134 クルーのグレゴリー・シャミトフ宇宙飛行士 (出典: JAXA/NASA)

Website info

ISSの組立フライト ULF6 (STS-134)
<http://iss.jaxa.jp/iss/ulf6/>

今週の国際宇宙ステーション



最初のISS構成要素打ち上げから 4575 日経過

STS-134 クルーを送り出し、新たな長期滞在クルーの到着に備える

5月29日、スペースシャトル・エンデバー号 (STS-134 ミッション) のスラストを使用した ISS のリブースト (軌道上昇) が行われ、ISS の平均軌道高度は約 1km 上昇しました。その後、ポリシェンコ宇宙飛行士らは STS-134 クルー 6 名を ISS から送り出し、3名での運用体制に戻りました。

新たに第28次長期滞在クルーに加わる古川宇宙飛行士ら3名を乗せた27Sは、6月10日にISSへ到着する予定です。到

着後、古川宇宙飛行士らは、ISS で緊急事態が発生した場合の対応手順など ISS の安全に関わる説明や ISS 船内の装置の説明などのオリエンテーションを受け、ISS 長期滞在を開始します。

Expedition 28 Crew

ISS 滞在 55 日経過

アンドレイ・ポリシェンコ (コマンダー、ロシア)
 アレクサンダー・サマクチャイエフ (ロシア)
 ロナルド・ギャレン (NASA)

6月10日からISS滞在開始予定

マイケル・フォッサム (NASA)
 古川聡 (JAXA)
 セルゲイ・ヴォルコフ (ロシア)



第28次長期滞在クルーと STS-134 クルーのお別れセレモニーの様子 (出典: JAXA/NASA)

Website info

27S ミッションページ
<http://iss.jaxa.jp/iss/27s/>

more information

▶【重力とともに生きる】古川宇宙飛行士との交信イベント参加団体募集(6月13日(月)まで)

http://iss.jaxa.jp/iss/jaxa_exp/furukawa/bosyu.html

「宇宙飛行士との対話を通して健康について考える」をテーマに、ISS 長期滞在による医学的な知見が高齢者の健康増進や寝たきりの防止に役立つことを、医師である古川宇宙飛行士との対話などを通じて紹介します。皆様のご応募をお待ちしています。

▶ 筑波宇宙センターにて春の企画展「今昔物語～ガガーリン有人宇宙飛行 50 周年と古川宇宙飛行士～」開催(7月上旬頃まで)

http://www.jaxa.jp/visit/tsukuba/topics_j.html

ロシア(旧ソ連)の有人宇宙開発をテーマに、ソユーズ宇宙船の帰還カプセルの実物大模型や旧ソ連時代の宇宙食、ロシアの通信社ノーボスチからご提供いただいた有人宇宙開発初期の貴重な写真の数々など、普段は展示していない貴重な展示物を特別に公開します。皆様のご来場をお待ちしています。

ISS・きぼうウィークリーニュース 第433号

問い合わせ先: 宇宙航空研究開発機構 宇宙ステーション・きぼう広報・情報センター

ホームページ <http://iss.jaxa.jp/> Eメール kibo-pao@jaxa.jp

ウィークリーニュースメーリングサービス登録 <http://iss.jaxa.jp/weekly/>

※特に断りのない限り日付は日本時間です。

※「ISS・きぼうウィークリーニュース」に掲載された記事を転載する場合、本ウィークリーニュースから転載した旨を記述ください。